

課題

20

何点取れば昇進できる？

出題

次のTOEICで730点以上取りなさい。そうすれば昇進させよう。900点を超えればニューヨーク支社長にしよう。600点以下だったら減給だ。450点未満だったらクビだ！

(支社社長の言葉)

1点の差で泣くかもしれない惜しい作品

Take 730 or more points at the next TOEIC. Then, I will promote you. If you take 900 or more points, you will be General Manager, New York Branch. You will take a cut in salary if you take 600 or less points. You are fired if you take less than 450 points!

☐ 三上修平さん(東京都)の作品



このポイント

★「以上」「以下」「未満」は定義を考えて訳す
★地位・ポストは抽象的なので無冠詞

「以上」「以下」を間違えると大損です

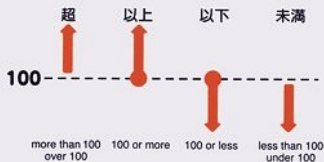
「以上」「以下」「未満」などの練習とはいえ、似たようなプレッシャーって世の中あちこちにありませんか。みんな数字に縛られてるんですよ、多かれ少なかれ…。(岩手県・伊藤幹さん)。

「under or over など、善段何気なく、日本語で言うところの「以下」「以上」のつもりで使用していましたが、両方ともその数字を除くということを、この課題をやるために聞いた辞書で初めて知りました(東京都・佐藤公忠さん)。

「以上」「以下」はその数字を含みますが、more than / less thanは含みません(それぞれ日本語の「超」「未満」)。ですから「100以下」であれば、英語では「100またはそれより少ない」と言います。代表的表現としては、

100超(101～)	more than 100 / over 100
100以上(100～)	100 or more
100以下(～100)	100 or less
100未満(～99)	less than 100 / under 100

※over 100 は年齢の場合は「100歳以上」(100歳の誕生日を迎えた瞬間より後)を指すことが多い。



日本語話者には特に「以下」を間違えやすいようです。ビジネスではわずかな差でも大きな損害になるため、数字を正確に表現できないとニューヨーク支社長には適しません。なお、実はネイティブも同様に、その数字を含まないはずの under を誤用する人がけっこういます。正しく書いた場合でも、念のために「その数字を含むかどうか」相手に必ず確認しましょう。

900点では支社長になれない！

冒頭の三上作品は、「超」以外は正確に書かれた佳作です。900 or more points (900点以上)と書かれているので、これでは900点ちょうどでも支社長になれることになってしまいます。添削すると、